

## 目黒会関西総支部総会報告

平成 27 年目黒会関西総支部総会は 5 月 30 日、大阪科学技術センターに 36 名の方々にお集まり頂き開催しました。福田喬学長、目黒会野々村欽造会長他、本部役員に来賓としてお越し頂きました。

第一部では電気通信大学の山口浩一教授(S61MC)に「量子ドットテクノロジーの展開」と題する講演をしていただきました。山口先生は、今年電通大を卒業してから 30 年、研究室設立から 20 年目の節目にあたり、現在は半導体量子ナノ構造の作製、物性評価、デバイス応用に関する研究を行われております。今回のご講演では、先端技術である量子ドットにつき、その原理と作製方法を分かりやすく説明して頂いた上で、ディスプレイやレーザーといった具体的な応用事例をご紹介いただき、同技術に関する理解を深める事ができました。

第二部は総会で、小島宣治総支部長(S50B)より平成 26 年度事業報告、収支決算書および平成 27 年度事業計画についての説明があり、満場一致で全議案が承認されました。

第三部は野々村会長と福田学長よりご特別講演を頂きました。野々村会長からは、目黒会の財務状況および新体制のご説明を頂いた上で、これからの目黒会の方針として、国内海外支部の支援に加えて、地域や企業内 OB 会への支援など、活動範囲を広げて、会員の方々の満足度の向上に取り組んでいくとのご説明を頂きました。福田学長からは、文部科学省の国立大学改革プランを受け、さらなる教育の強化のため、学部・研究科の改組再編計画につき、ご説明いただきました。また、電通大 100 周年基金の状況についてもご説明いただき、OB や企業への協力を呼びかけられておりました。

第四部は懇親会で、総支部長小島宣治氏の挨拶で始まり、例年通りご来賓を囲んでの歓談が進みました。今年、御手洗顕氏(S39RA)が目黒会賞を受賞されたことから、受賞のご挨拶も頂きました。参加者の近況や学生時代の思い出、趣味の話など、会場中で歓談が弾む中、お時間となり井関宏介氏(S43S)の一本締めで散会となりました。  
(H9IS 宮澤友和ノ記)

